



恋と よじめての 朝

OTABEK ALTIN x YURI PLISETSKY
Lionni

R18



そんな風に
思われるのは
心外だ

さすがに
怒るぞ

ユーリ

初めて

オタベツクを
怒らせた

アハハハ

こうなった？

オタベック！

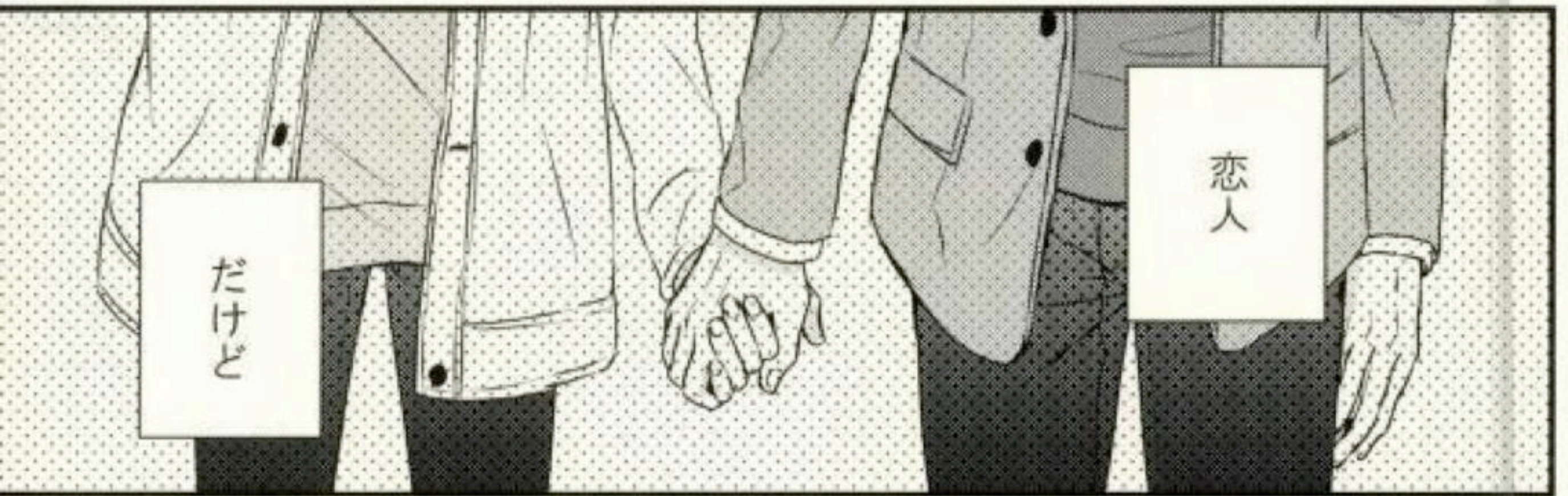








俺たちは今
微妙な関係だ



だけど

恋人



最後の
一線を
まだ
超えられてない

前に一度

そうなるはず
だったけど

やっぱ無理!

俺が
ギブアップした

おかしく
なるから...

あのまましたら
どうにかなりそうで
止めてしまった

嫌じゃない

ちがく...て

いや...

でも

も...

だめだ

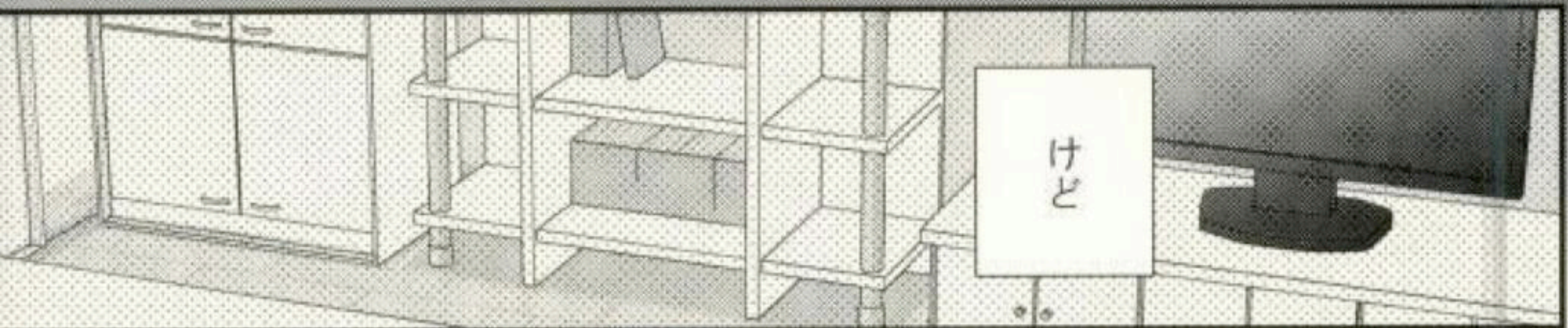


大丈夫だ

ユーリの心の準備が
出来るまで待つから

そう言ってくれた
オタベツクは
優しくて

嬉しかった



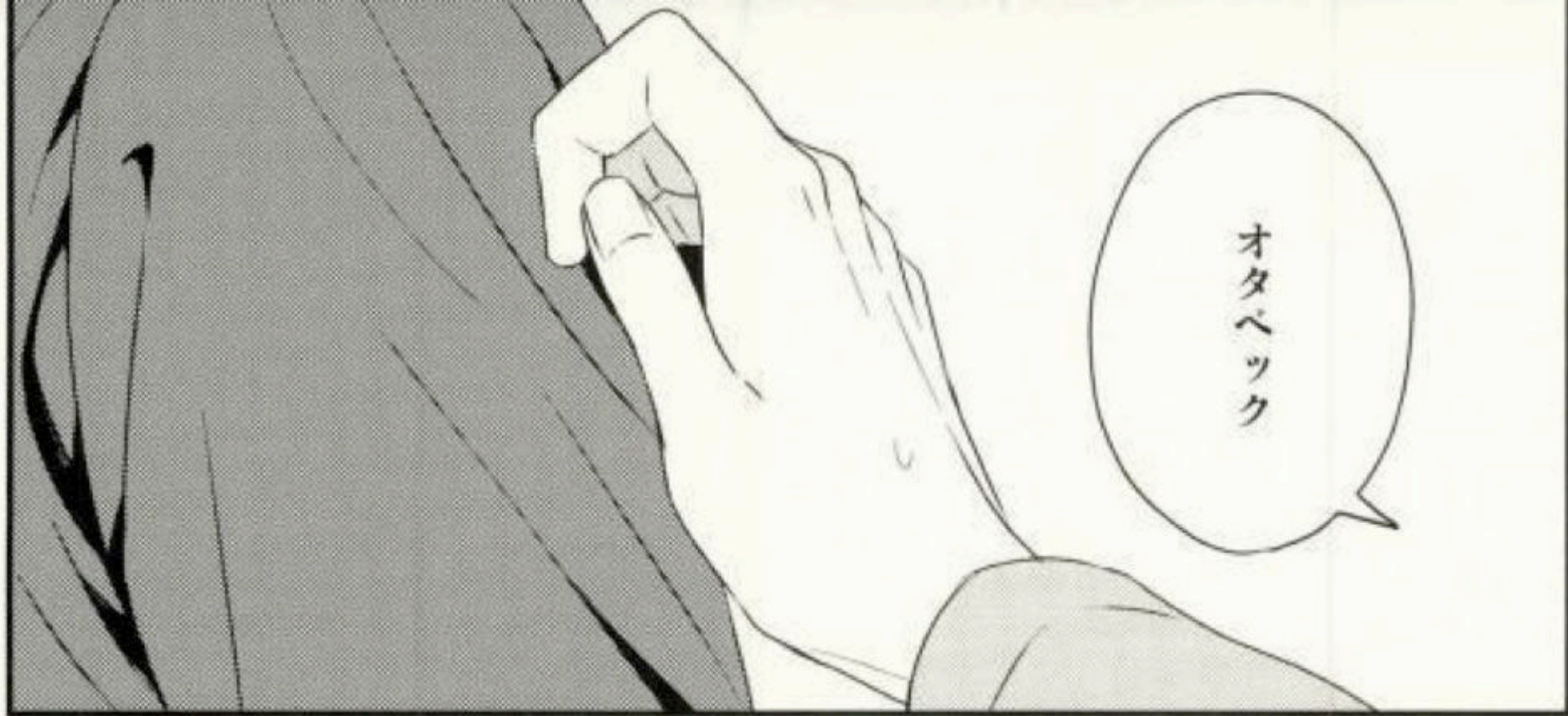
けど



もうとつくに
準備が出来てる
ことを

どう伝えれば
いいんだ!?

ユウジは
ユーリが見たいって
言った
あれが...





悪い

コーチからだ

電話出るな

うん



あの後



遠ざかる

オタベツクの
背中を見て



俺はすぐに
後悔した

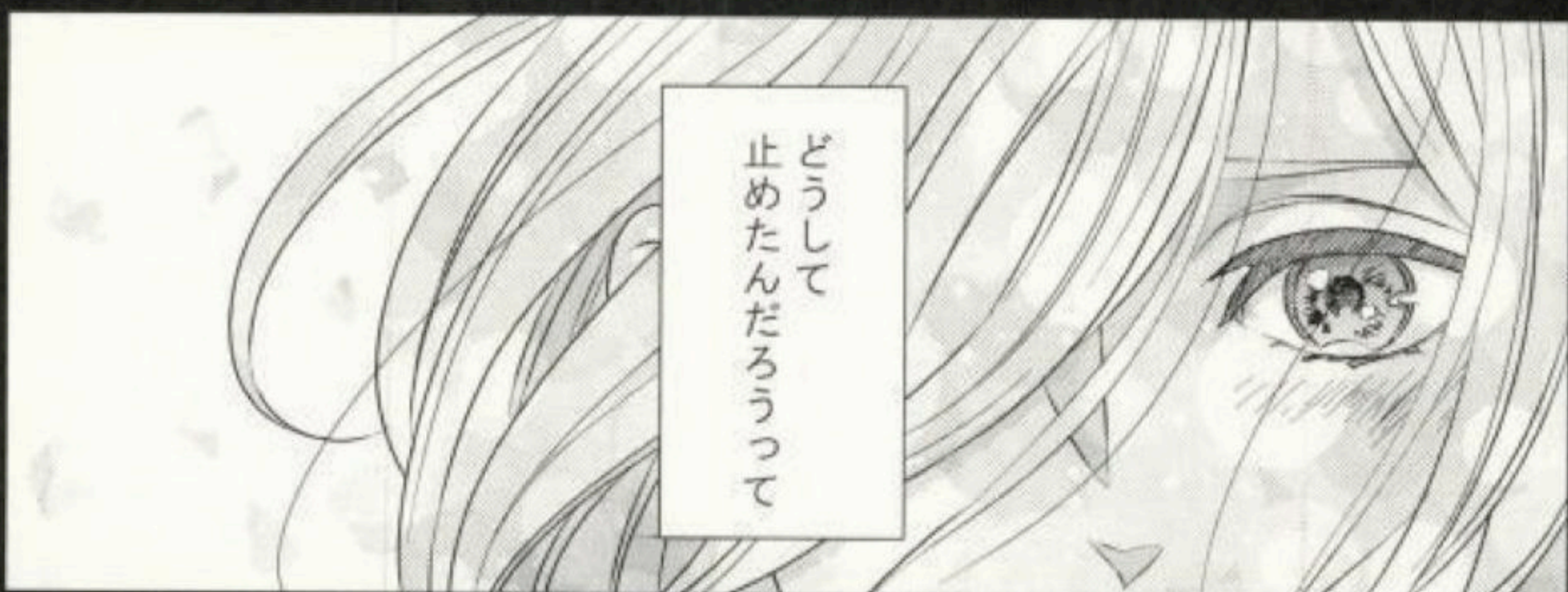
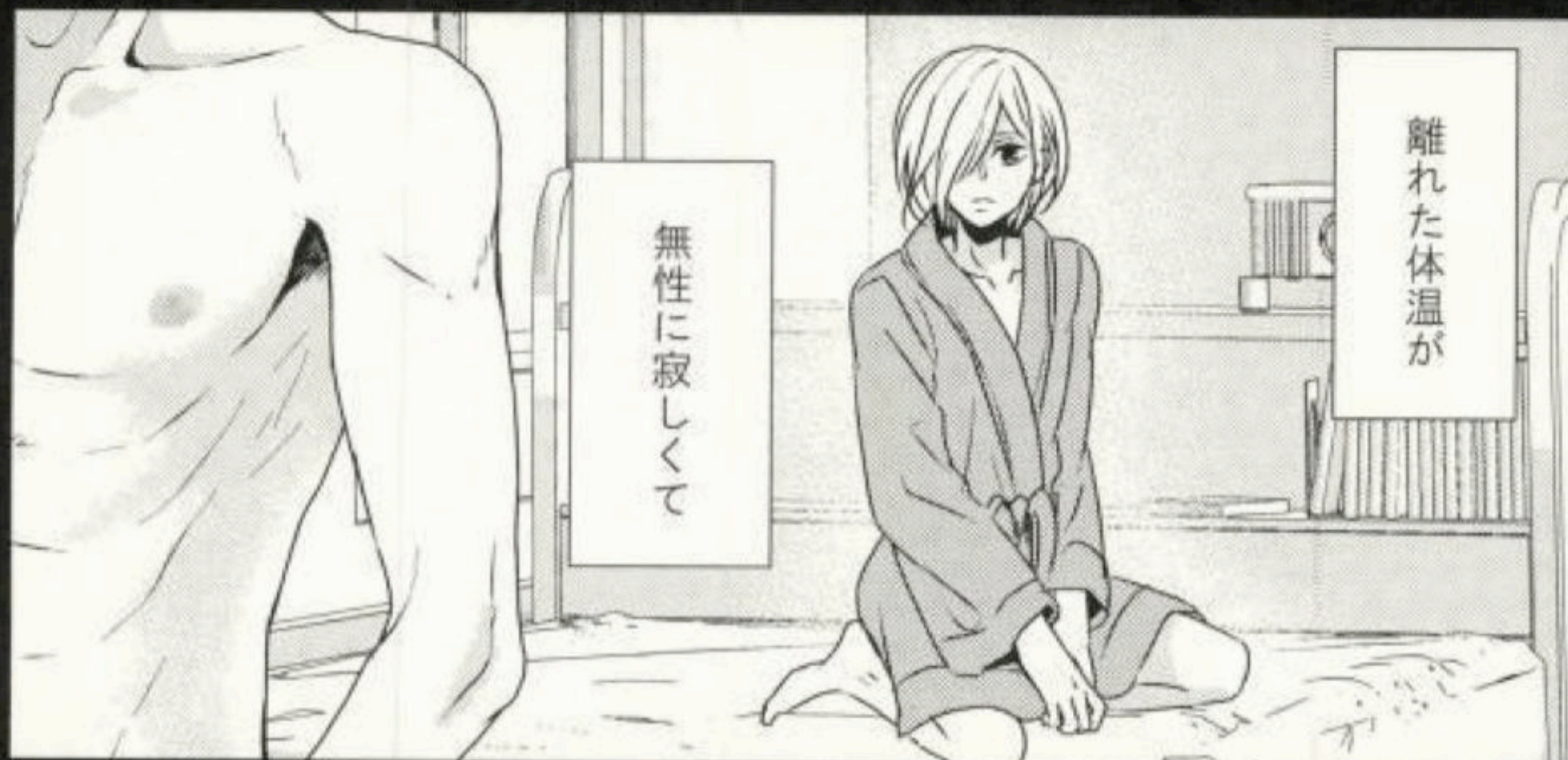
ユーリ

俺はお茶入れて
くるから

髪乾かしてきな

あ

うん





ユーリ?



何て言えばいい?



ごめんな

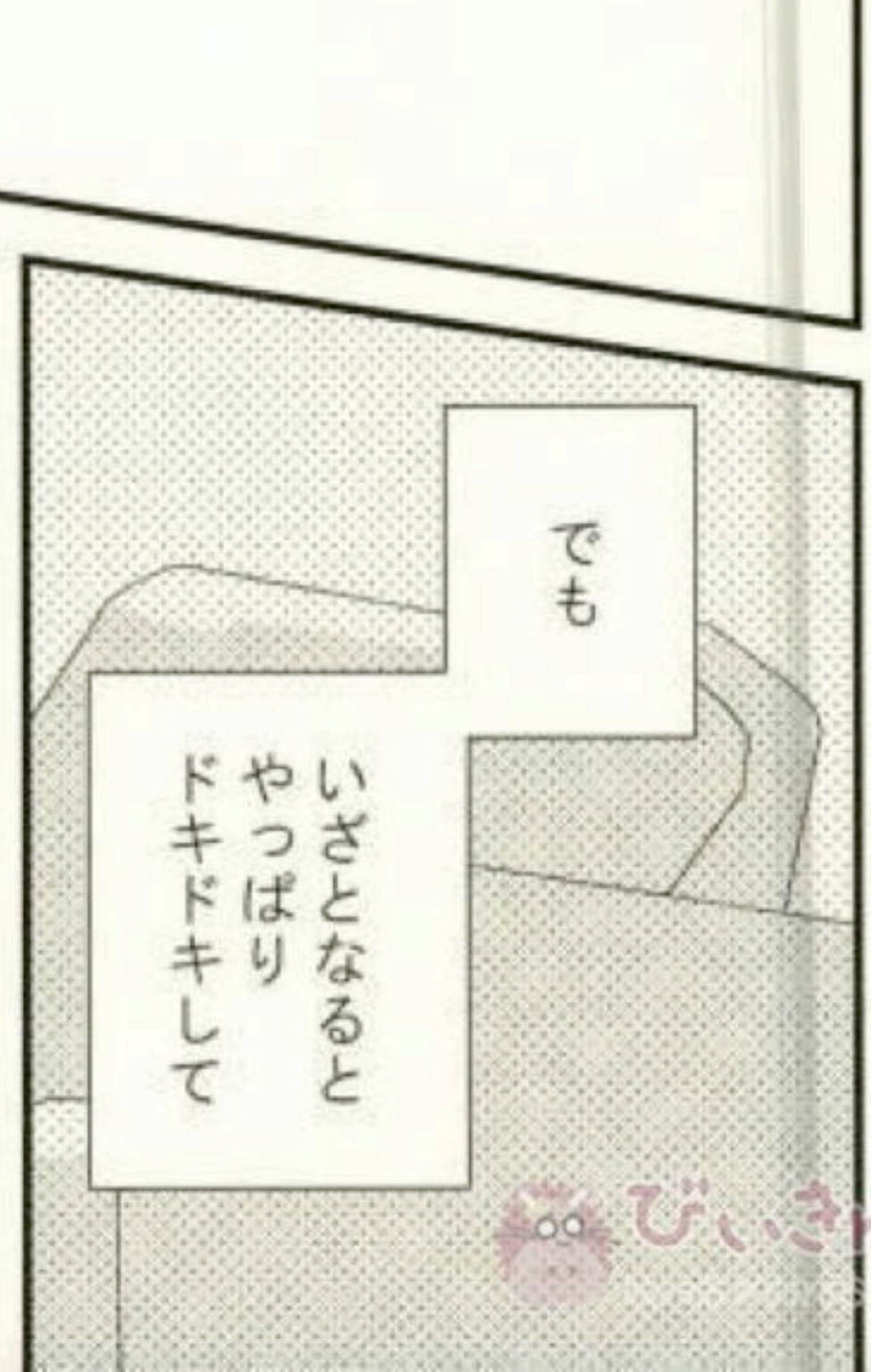
話の途中
だったのに

なんだろう

こんな
はつきりしないの
俺らしくないだろ



言葉が出ない



でも

いざとなると
やっぱり
ドキドキして



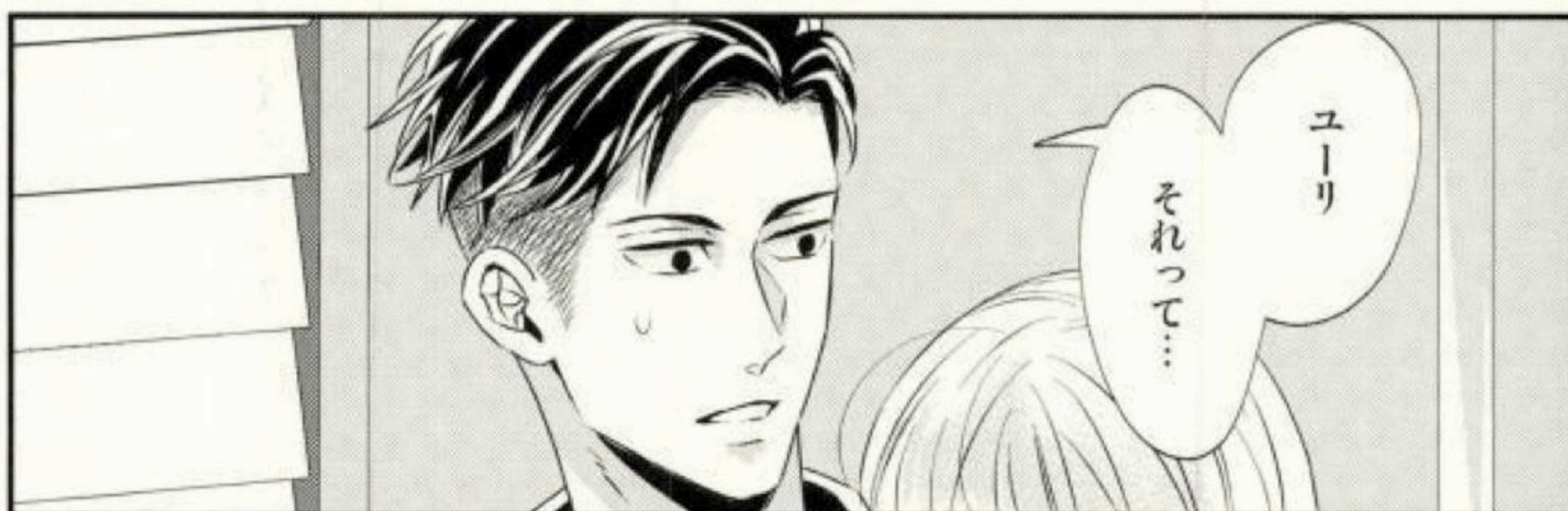




勝手なことを
言ってるのは
わかってる

一言はつきり
言えばいいんだよな

してくれって



ユーリ

それって…



でも俺はこんなに
オタベツクに
触りたいし

触ってほしいのに

お前は違うのかよ

簡単に我慢できる
程度なのかよ



本当はそこまで
俺のこと



好きじゃねえん
じゃねーの



結局
オタベツクはさ

理性がどうにか
なるくらい

俺を抱きたいとは
思ってたんだよな



そんな風に
思われるのは
心外だ

：ユーリ



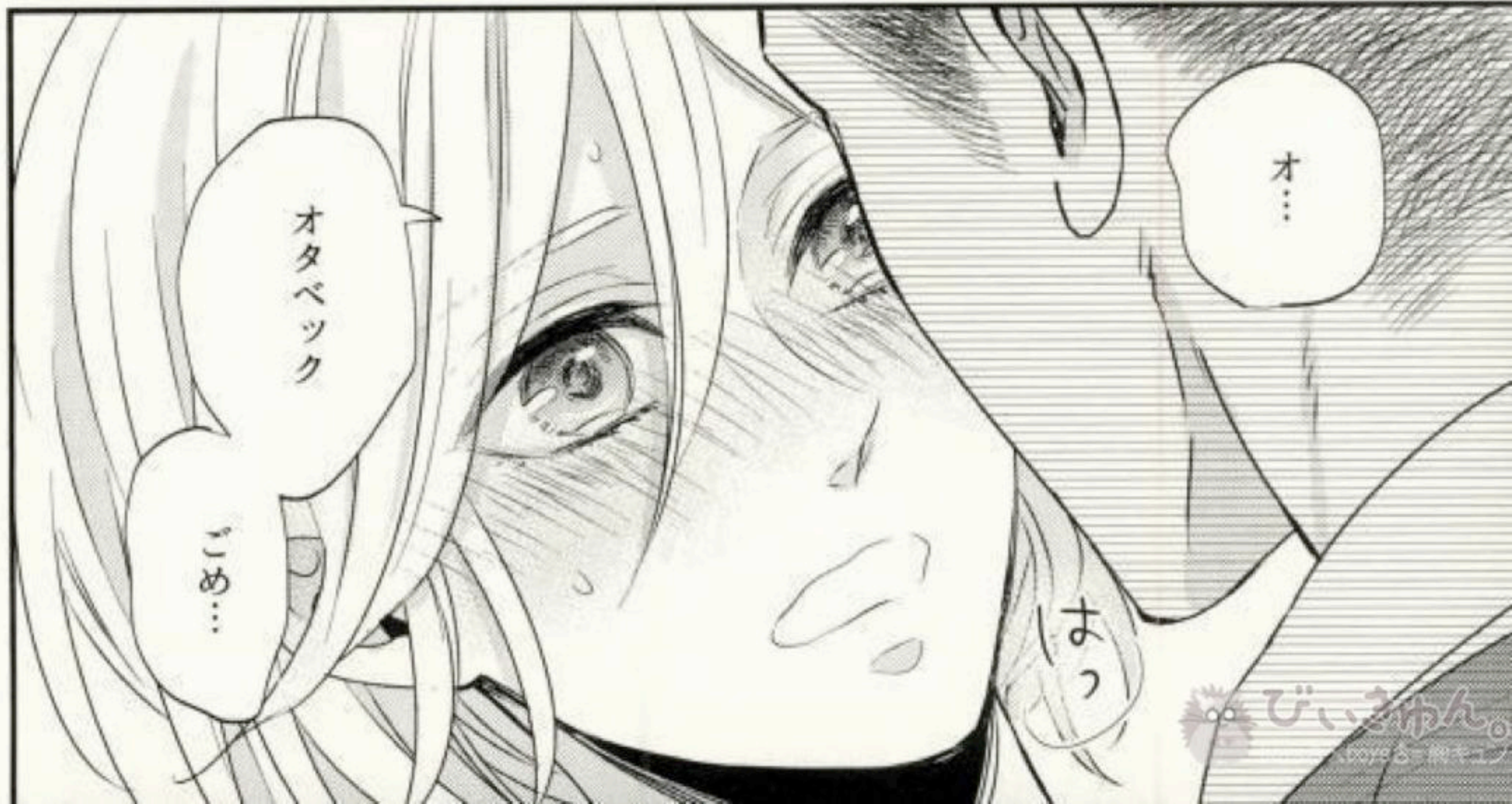
さっさと

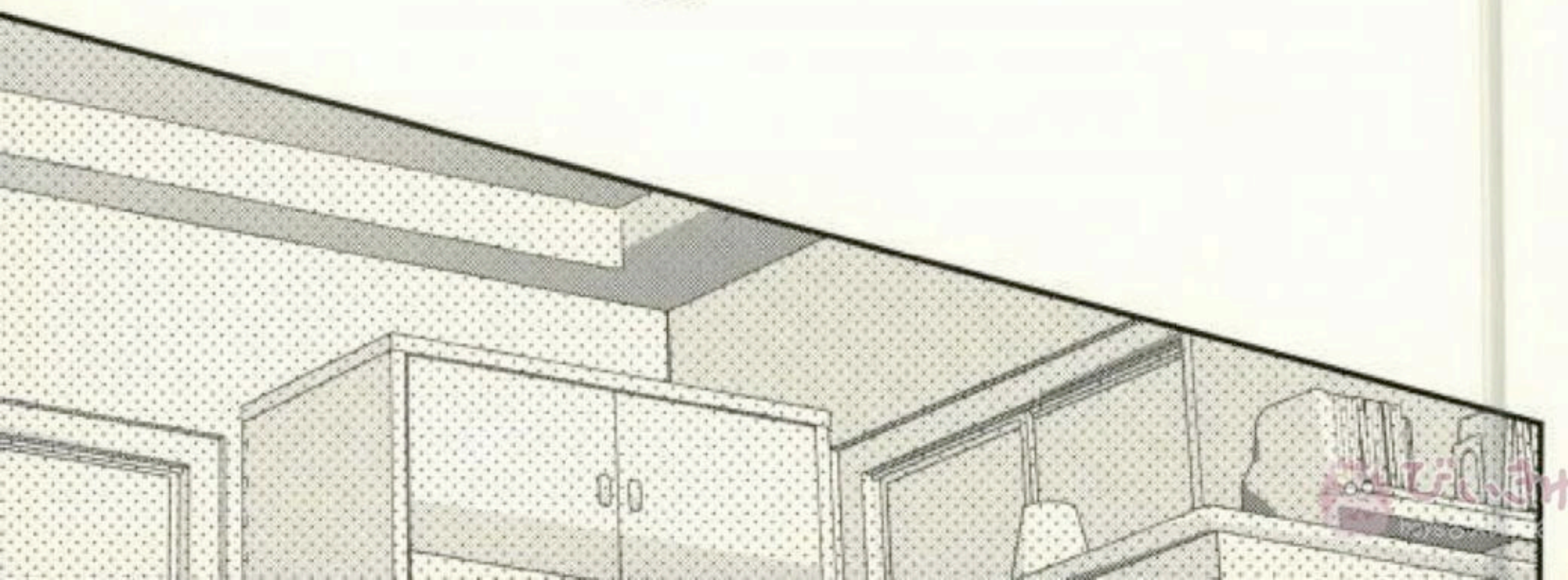
そんなに好きじゃないからだと誤解されるなんて

理性総動員して我慢してるのに

それを

……







オ

ちゅっ

オタベック…っ

全身
舐めるまでだ

は!?

いつまで
舐めて…っ

はっ



怒った
オタベックは

乱暴にしたりは
しなかったけど

れろ

ひっ



ユーリは
足の先まで
綺麗なんだな

んだそれっ

なんかもう

もう…!

うあっ

なにっ



もうユーリの
制止は聞かない

好きじゃない
って言われるし

おまっ
根に持ち
すぎだし!

あやまった
たろ!!!



男なら好きな
相手には
こんなもんだろ

こんなっ
変態だった
なんて...っ

オタベツクが...

まだここ
からだぞ

...っ!
しっ!

はっ



はっ



入れるのか？

それっ



そ…

びくっ



ん…ん



ぬるっ

!!!



ああ

ぬるっ びいきん。

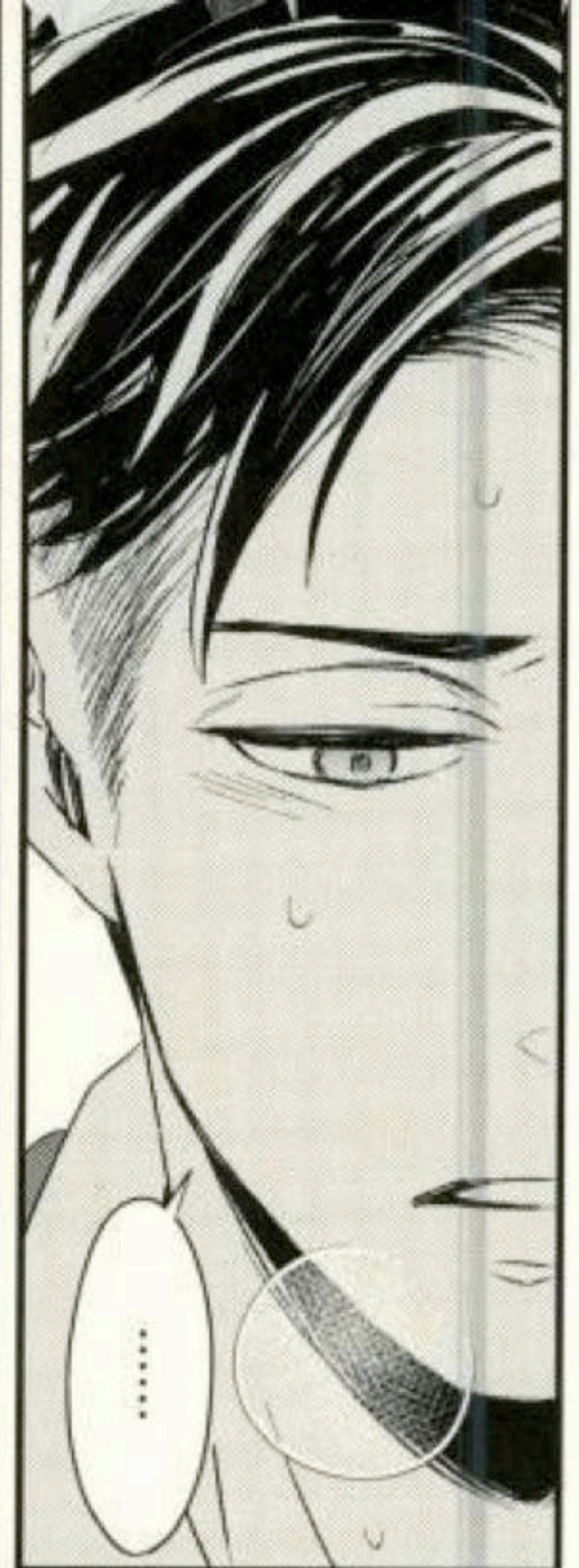


悪い…ユーリ

怖いか？

やめるか？

え…



…



ユーリが
本当に嫌な事は
したくないんだ

そもそも

初めての時はもっと
優しくするつもり
だったのに



すすっ

なんだよ

俺の制止は
聞かないんじゃないや
なかつたのかよ



どうして
こんな事に…





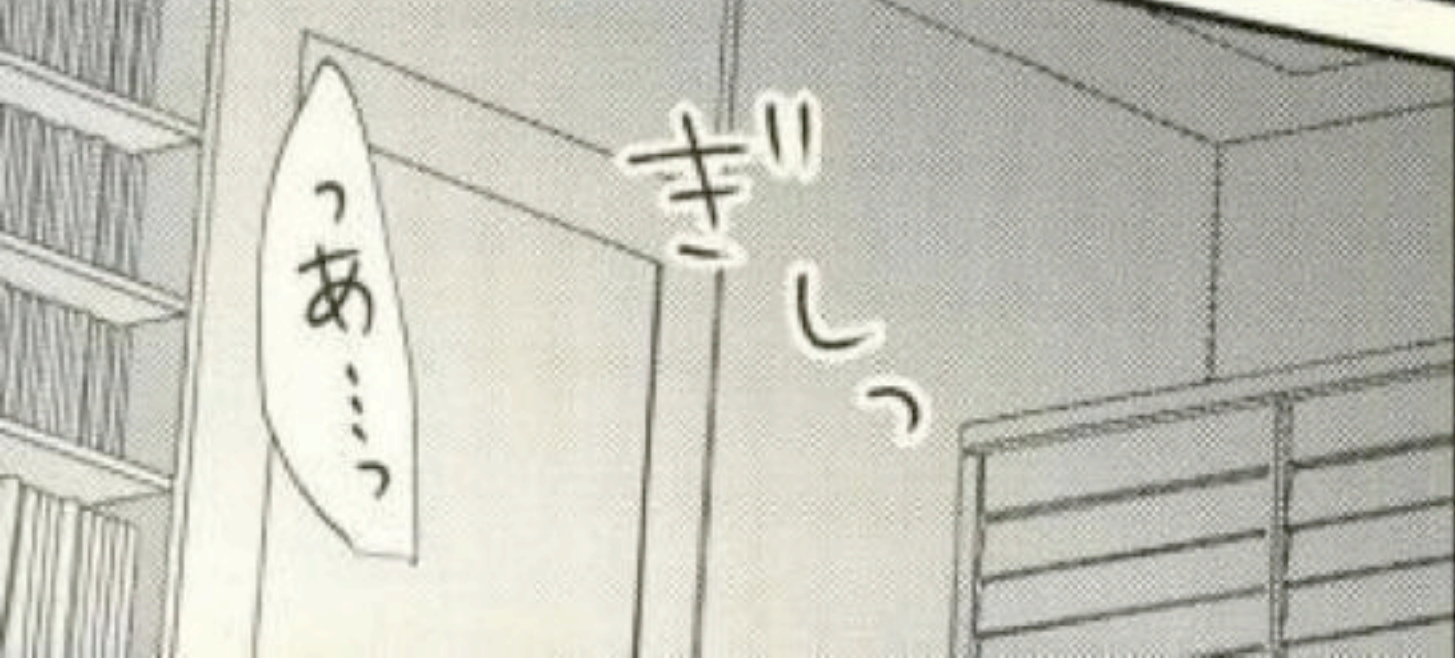
ユーリ…

オタベツクが
俺に



本当に
酷い事なんて

しないって
わかってるから



っあ…っ

ギッ
しっ



優しくなく
たっていい

オタベツク
ならいい

したい事
全部しろよ



うっ...
あ

全部

はい...る

...っ

ッ

ズッゴッ
ッ

ッ



はっ

大丈夫か？

ユーリ

ははっ

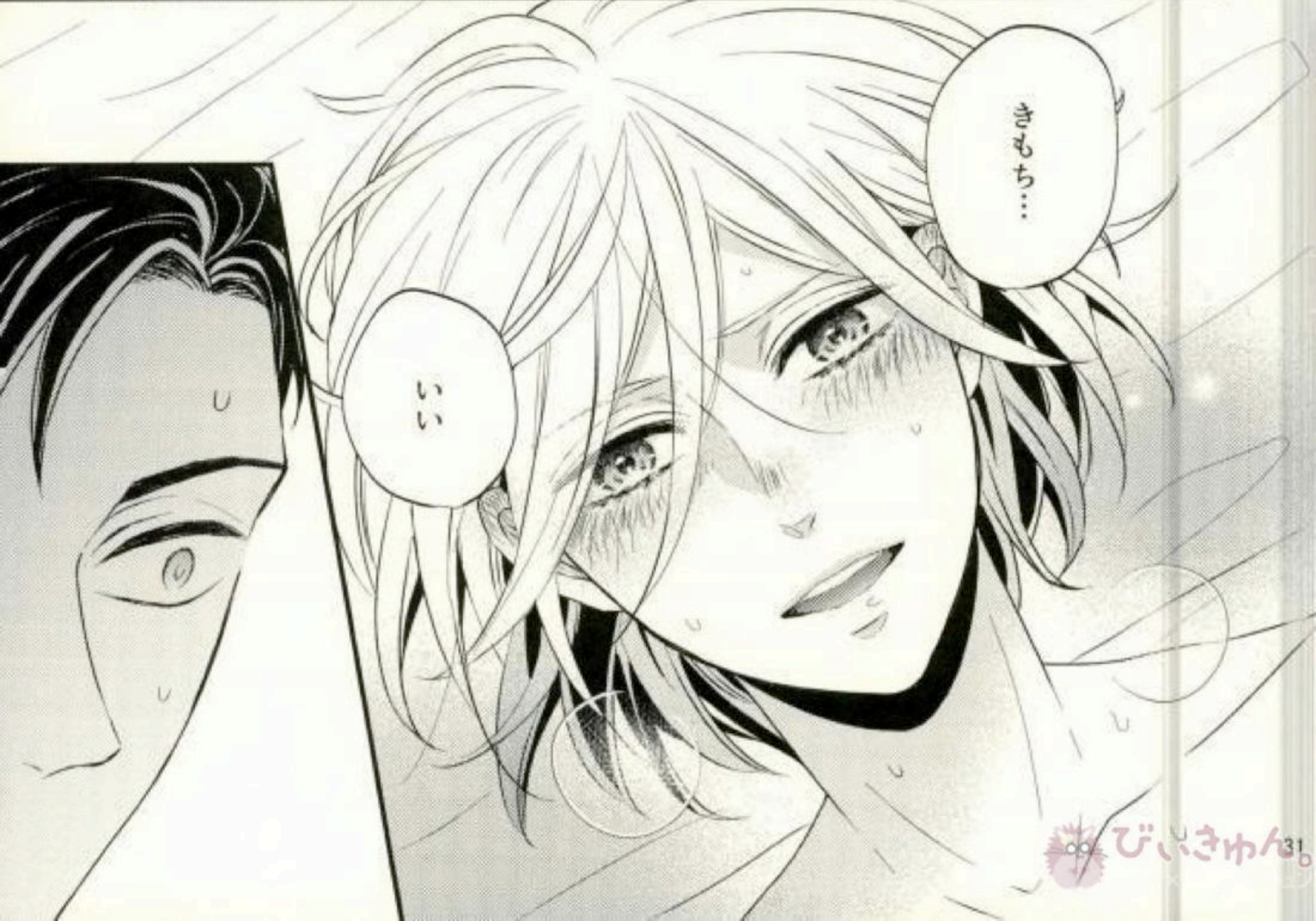
ヤバい…

俺のなか

オタベツクで

いっぱいだ…

うん…



きもち…

い



もう

俺だけのものだ







俺も

END



YURI ON ICE FAN BOOK
OTABEK ALTIN x YURI PLISETSKY

Lionni

